


提出 順番	No. 13	平成 27年 11月26日 午前・午後 3時50分受領
----------	-----------	--------------------------------

平成27年 11月26日

幕別町議会議長 芳 滝 仁 様

幕別町議会議員 小 田 新 紀 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>(1) 農村ホームステイ事業の今後の展開について</p>	<p>大阪や東京の高校生が、修学旅行時に食料生産者宅でありのままの農村生活を体験する「農村ホームステイ事業」が、十勝全域で12の協議会のもと行われています。年々その需要は高まり、今年は約3,300人の受け入れが行われました。</p> <p>本町においても、「まくべつ稔りの里」が中心となり、毎年多くの生産者宅において、修学旅行生の受け入れの協力をいただき行われています。</p> <p>たとえ1泊のみとは言っても、生産者宅の方には多くの負担がかかっていると思いますが、本事業の趣旨を理解され、継続的に受け入れを行っている生産者の方には本当に敬意を表したいと思います。</p> <p>本事業は、この十勝でますます広がりを見せており、本町の立地、規模、農家数など、十勝管内において本町に求められる役割、そしてその役割を果たしていくべき効果・価値は大きいものと考えます。</p> <p>今後の本事業のさらなる推進のためには、生産者の方だけではなく、その価値を町民全体で共有していくことも必要と考えます。</p> <p>そこで、今後の事業推進に関わり以下の2点について伺います。</p> <p>(1) 今後の本事業に対する町長の見解。</p> <p>(2) 町民全体で本事業推進をしていくための今後の体制づくりについて。</p>

(2) 東日本大震災における東北復興支援の今後の展開について

2011年東日本大震災から早5年が経とうとしています。しかし、被災地、特に東北地方においては、いまだに復興したとは到底言えない状況であります。そればかりか、震災直後と比べて被災者の状況は多種多様化しており、支援体制が一層複雑化していると聞いています。

各自治体においての支援策としては、震災直後は職員の人的派遣、見舞金支給、被災者受け入れなどを中心として取り組まれていましたが、今後も継続的かつ細分化された支援策の検討が必要と考えます。

東北復興支援を継続的に続けている町内団体あるいは個人の方もいます。今後も一時的な支援にとどまらず、支援先とは、復興後も相互補完の関係作りが続くような官民一体となった支援策が必要と考えます。

そこで、以下の2点について伺います。

- (1) 過去4年間の東北復興支援の取り組みに対する町としての総括。
- (2) 今後の東北復興支援に対する考え方と具体的方策。

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。